

日本マス・コミュニケーション学会

第 37 期第 7 回理事会・議事録

日時：2020 年 3 月 7 日（土）15:00～17:00

場所：東京大学本郷キャンパス工学部新二号館 9 階 92B

出席者（21 名）：理事＝赤木、李、飯田、井川、音、河崎、佐伯、佐幸、佐藤（友）、高井、土屋、津田、丹羽、日高、福間、水越、水島、山田、吉見、渡辺。 監事＝辻

欠席者（4 名）：理事＝井上、鈴木、林 監事＝小川

事務局出席者（4 名）＝稲葉、宇田川、神谷、近藤

■報告事項

1. 一般会務報告

1) 事務局報告

2) 委員会報告

① 将来構想 WG

- ・ 将来構想 WG 担当理事より、将来構想 WG が理事会に先立って開かれたことが報告された。

② 研究活動委員会

- ・ 今後、各研究部会が積極的に企画をし、研究会を開催していく方針であることが報告された。

■審議事項

① 第 37 期第 6 回理事会議事録（案）について（総務担当）

- ・ 議事録内容について承認された。
- ② 学会の財務状況について
- ・ 総務担当理事より学会の財務状況についての報告がされた。大会参加者を増やすなどによって、学会収入を増やす努力をする必要があることが確認された。
 - ・ 今後は、学会費の変更も含めて検討していく必要があることが承認された。
- ③ 2020 年度春季研究発表会について （企画委員会）
- ・ 企画委員会担当理事より春季研究発表会のプログラム案について報告がされた。今後は一層、報告者数を増やすための努力を行うことが確認された。
 - ・ 賛助会員を増やすために、今後は大会において、賛助会員による作品公開などの場を設けることが提案され、承認された。
- ④ 学会名称問題の検討状況について （学会名称検討チーム）
- ・ 学会名称検討チーム担当理事より、パブリックコメントの概要説明が行われた。また、パブリックコメントを踏まえて行われた、歴代会長より構成される総務委員会での議論の概要が報告された。総務委員会からは、学会名称変更に関する問題は、学会がメディアに関する学的方向性を示す機会ととらえ、積極的に提示するべきだという意見が出され、理事会においてもその方向性であることが確認された。
 - ・ また、当初、パブリックコメントは概要を公開することになっていたが、総務委員会からは、むしろ積極的に全体を公開したほうがいいのではないかと提起された。これを踏まえ、投稿者に修正の機会を与えることを前提に、理事会においても全体公開を行う方針とすることが承認された。
 - ・ くわえて、パブリックコメントを踏まえ、5月の理事会で具体的な手続きの検討をはじめ、6月の春季研究会で学会員を交えた懇談会を開くことが承認された。
- ⑤ EBSCO について （編集委員会）

- ・ 編集委員会担当理事より、図書館や研究機関向けに学術情報サービスを提供している EBSCO から、日本マス・コミュニケーション学会から発行されている『マス・コミュニケーション研究』（および前身の『新聞学評論』）を、同社学術論文データベース（EBSCOhost）の収録対象とさせてほしいとの検討依頼があった旨が報告された。著者からの許諾、公開時期をいつにするか、出版社の意向など、クリアすべき問題はあるものの、学会誌のプレゼンスを上げるという点で、今回の提案を受けるべきではないかとの議論がなされ、EBSCO との交渉を進めていくことが承認された。

⑥ 学会 Web について （広報委員会）

- ・ 広報委員会担当理事より、学会 HP の構築作業の現状が報告された。そのうえで、学会 HP のデザイン案について複数が示され、デザインの方向性について承認された。
- ・ また HP ができてからの広報のあり方に関して、今後は各委員会のもとに広報担当者を設けて、担当者と広報委員会が密接に連携を取りながら運営をしていく仕組みが提案され、承認された。

⑦ 来年度予算について （総務担当）

- ・ 次年度の予算案について総務担当理事から報告がされ、若干の修正をしたうえで承認された。

⑧ 会員の入退会について

- ・ 会員の入退会について承認された。

■今後の理事会日程

2020 年

5 月 16 日（土） 東京大学本郷キャンパス工学部新二号館 9 階 92B 15:00 – 17:00（予定、変更の可能性あり）

以上